

道路協力団体と協力した取組

～「むれ源平まつり&ふれあい四国路 2017in 源平」～

国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所

1. はじめに

国土交通省は、地域の方々や企業の皆さんが道路を慈しみ、住んでいるところをきれいにしたいという自然な気持ちを形あるものにしようと考え、道路の清掃や植樹管理を支援する「ボランティア・サポート・プログラム」制度を平成12年度に策定し、導入してきたところです。

そして、昨年12月には道路法の改正により「道路協力団体制度」を創設し、民間団体の自発的活動を促進し、地域の実情に応じた道路管理の充実を図ることとしました。

今回、道路協力団体として指定（平成28年12月指定）された団体と協力し、地域の魅力向上と道路愛護について、地域住民のご理解とご協力を頂くことを目的に、「むれ源平まつり&ふれあい四国路 2017in 源平」のイベントを実施しましたので、その取組等について紹介いたします。

タイムテーブル

- 10時 オープニングセレモニー
- 10時30分 タイムカプセル開封
- 11時 キッズダンス
- 12時 アマチュアバンド演奏
- 13時30分 ふれあい四国路2017in 源平 開会挨拶
- 15時25分 閉会挨拶

タイムカプセル開封!
二十歳の時に
10年後のわたしへのメッセージが
いま届く!

イベントチラシ

2. 「むれ源平まつり」について

平成28年12月に指定された道路協力団体は全国で26団体あり、うち香川県では3団体が指定されています。その3団体が実行委員会を構成し、指定後1年を契機に、「道の駅」源平の里むれ（香川県高松市牟礼町）にて関係機関と連携したイベントを平成29年12月3日に開催しました。



準備会の状況

香川の道路協力団体は、牟礼香川グリーンクラブ、屋島を良くする会、NPO 法人四国の道路サポータクラブの3団体が指定されており、イベントに向けては、約3ヶ月前から定期的に準備会を香川河川国道事務所等で開催し、いろいろなアイデアを出し合いながら実施内容を決めて行きました。また、道路管理者側である香川河川国道事務所も後援する立場として、イベント開催に必要な協力を積極的に行い、道路協力団体と連携しながら準備を進めて行きました。

イベント開催にあたっては、道路協力団体の活動場所である「道の駅」源平の里むれ」が、源平屋島合戦の古戦場として知られている場所に位置していること、そして、その「道の駅」が開駅10周年の節目を迎えることから「むれ源平まつり」と名付けることとなりました。

イベントの内容は、『オープニングセレモニー』、『タイムカプセル開封』、『キッズダンス』、『アマチュアバンド演奏』により構成され、同時に、道路協力団体による『物販』も催されました。『タイムカプセル開封』では、今年開駅10周年を迎えた「道の駅」源平の里むれ」にて、当時の小学生が「二十歳の私」に宛てたメッセージを石のモニュメント内に収めていたものを開封し、大はしゃぎをしながらメッセージを振り返っていました。その後、子供達による元気で活気のある『キッズダンス』、地元有志による素晴らしい演奏の『アマチュアバンド』へと進み、主催者側の予想を上回る約600名の参加者とともに、盛大に開催することが出来ました。



タイムカプセル開封



キッズダンス



アマチュアバンド



物販（からあげ等）

道路協力団体が行った『物販』では、からあげ、甘酒などが販売されたものの、当日の売り上げは約5万円、利益は約1千円のマイナスに留まったため、道路ボランティア活動へ還元できるほどの利益を如何に生み出すかという点が、今後の課題として残りました。

3. 「ふれあい四国路 2017in 源平」について

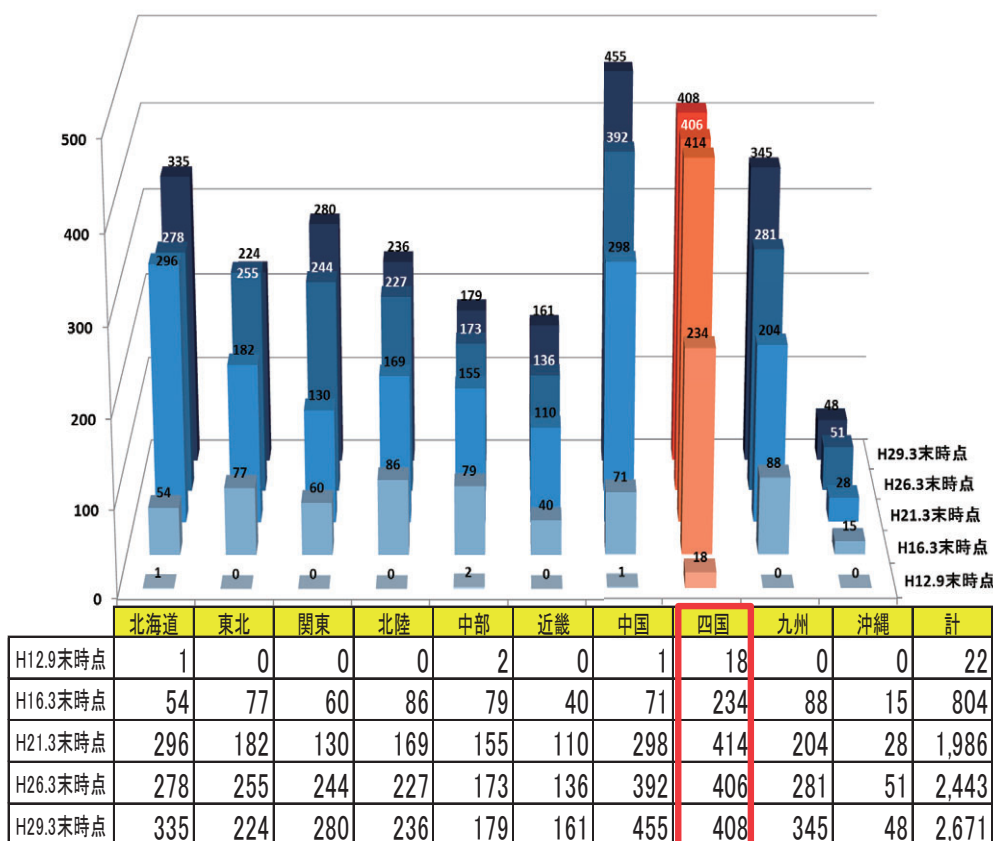
「ふれあい四国路」とは、四国が一つになり、道路を慈しみボランティア活動がより盛んになり、さらに美しいまち、美しい四国路になることを願い四国4県と国土交通省の道路ボランティア活動の総称として公募により名付けられたものであり、現在登録されている団体数は408団体（H29.3末現在）にのぼります。

四国では、毎年4県持ち回りで道路ボランティアの交流会を行っており、今回で16回目を迎えました。

午前に行われた「むれ源平まつり」に引き続き、香川県内の道路協力団体である3団体のほか、平成28年12月に指定された四国内の他の2団体を加え、「ふれあい四国路 2017in 源平」の交流会を開催しました。



キャラクター「あいか」



道路ボランティア活動登録団体数（コンビニ等除く）（国土交通省調べ H29.3 現在）

交流会では、泉川校区まちづくり連合自治会（愛媛県新居浜市）、NPO 法人新町川を守る会（徳島県徳島市）、牟礼香川グリーンクラブ（香川県高松市）、屋島を良くする会（香川県高松市）、NPO 法人四国の道路サポータクラブ（香川県高松市）の5つの道路協力団体に活動報告を行って頂き、日頃の活動内容や収益活動についての報告がありました。



「泉川校区まちづくり連合自治会（愛媛県新居浜市）」の活動報告より抜粋



「新町川を守る会（徳島県徳島市）」の活動報告より抜粋



「牟礼香川グリーンクラブ（香川県高松市）」の活動報告より抜粋



「屋島をよくする会（香川県高松市）」の活動報告より抜粋



「NPO 法人四国の道路サポータクラブ（香川県高松市）」の活動報告より抜粋

4. おわりに

道路に関する事業は、過去においては計画から管理までを道路管理者のみが実施していましたが、道路管理延長は増加傾向にあり、地域の方が『住んでいるまちの道路を綺麗にしたい』、『地域にあった道路づくりをしたい』、『魅力ある地域にしたい』というニーズ・意識が高揚する中、行政機関とボランティアが協働する時代に変化しており、その中でも道路協力団体の協力は必要不可欠なものとなっております。

また、道路協力団体などの道路ボランティアについては、次の世代を担う若者がいないこと、リーダーが世代交代した後をどうするのが懸案事項となっており、若者が道路協力団体等に参加しやすいシステムづくりが必要となっています。

道路協力団体と連携した今回のイベントは、大きなトラブルもなく無事に終わることが出来ました。道路協力団体制度の業務内容である「得られた収益を道路の維持管理に還元」という点で新たな一歩を踏み出しましたが、まだまだ課題が残ってしまう結果となりました。今回の交流会での情報交換が今後の活動に役立つものと考えています。

今後、このような活動が継続し、活力ある地域づくりをしていくためにも道路協力団体との連携が必要であり、道路管理者も知恵を出しながら活動を支援していくことが重要であると考えています。